

# 第 14 部

家屋、土木、建築

## 202. 家 屋

昭和32年3月31日現在

年 度	戸 数	坪 数
昭和27年度	99,623	4,620,859
" 28年度	100,944	4,651,802
" 29年度	102,082	4,680,471
" 30年度	103,109	4,701,121
" 31年度	104,147	4,745,568

注 本表の戸数は昭和22年の住宅調査を基準として年度間における住宅の新設、減失数により算定し、坪数はさらに増改築を加えた。

## 203. 着工住宅種類別及び工事別

昭和31年

### (1) 新設住宅種類別

年 次	総 数			専 用 住 宅			農漁業用併用住宅			一般併用住宅			その他の住宅		
	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数
昭和27年	2,506 (345)	45,992 (5,762)	41,934 (1,105)	1,546 (278)	25,131 (4,150)	125,541 (862)	178	5,289	4,789	736 (67)	14,637 (1,612)	10,721 (243)	46	935	883
" 28年	1,938	30,248	29,255	1,370	19,000	21,329	320	3,421	2,955	233	6,793	4,566	15	1,034	405
" 29年	1,275	24,190	21,625	1,046	16,572	16,226	115	3,821	3,128	98	3,376	2,020	16	421	251
" 30年	1,129	37,658	25,289	787	24,707	16,373	167	5,285	4,698	159	7,292	4,009	16	374	209
" 31年	1,193	28,487	24,086	881	19,319	17,189	160	5,079	4,118	143	3,882	2,638	9	207	141

注 昭和28年の( )は調査し得た届漏れで外数である。以下(2)、(3)についても同じ。

### (2) 着工住宅工事別

年 次	総 数		新 設			そ の 他	
	延べ面積(坪)	畳 数	戸 数	延べ面積(坪)	畳 数	延べ面積(坪)	畳 数
昭和27年	53,436 (5,762)	48,696 (1,105)	2,506 (345)	45,992 (5,762)	41,934 (1,105)	7,444	6,762
" 28年	37,212	35,468	1,938	30,248	29,255	6,964	6,213
" 29年	30,262	27,099	1,275	24,190	21,625	6,072	5,474
" 30年	40,899	28,229	1,129	37,658	25,289	3,241	2,940
" 31年	34,392	28,663	1,193	28,487	24,086	5,905	4,577

### (3) 新設住宅利用別

年 次	総 数			持 家			貸 家			給与住宅			そ の 他		
	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数	戸 数	延面積(坪)	畳 数
昭和27年	2,506 (345)	45,992 (5,762)	41,934 (1,105)	2,307	41,815	37,543	151	2,010	2,092	33	1,578	1,734	15	589	565
" 28年	1,938	30,248	29,255	1,244	22,955	20,751	631	5,980	7,499	59	996	954	4	317	51
" 29年	1,275	24,190	21,625	674	18,490	15,257	577	5,131	5,929	22	450	379	2	119	60
" 30年	1,129	37,658	25,289	956	34,871	22,656	136	2,000	1,872	19	507	481	18	280	280
" 31年	1,048	25,572	21,449	916	23,697	19,517	92	1,151	1,247	29	494	480	11	230	205

### 204. 着工建築物構造別及び用途別

昭和31年

#### (1) 構 造 別

年 次	総 数		木 造		鉄筋コンクリート造		鉄 骨 造		そ の 他	
	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)
昭和27年	107,591	1,965,653	93,862	1,283,595	13,070	662,116	586	16,442	73	3,500
" 28年	83,558	2,871,921	71,318	2,185,857	10,612	619,114	764	27,830	864	39,120
" 29年	62,636	1,543,441	57,418	1,221,761	3,826	266,455	882	22,203	510	33,022
" 30年	70,896	1,555,959	64,579	469,502	4,817	476,939	1,457	347,209	43	262,309
" 31年	69,653	1,646,286	58,891	1,272,131	8,260	295,459	1,761	55,051	741	23,645

#### (2) 用 途 別

年 次	総 数		居住専用建築物		居住産業併用建築物		農林水産業用建築物		鉱工業用建築物	
	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)
昭和27年	107,591	1,965,653	61,339	1,045,290	—	—	1,832	36,388	16,193	255,725
" 28年	83,558	2,871,921	30,811	796,592	15,069	387,836	5,136	73,237	4,807	169,203
" 29年	62,636	1,543,441	22,236	508,955	12,434	209,124	6,254	87,909	4,270	85,701
" 30年	70,896	1,555,959	24,707	540,244	12,577	220,604	5,939	75,680	4,599	118,621
" 31年	69,653	1,646,256	23,517	583,612	13,866	260,051	4,711	64,559	4,359	73,519

年 次	商業用建築物		公益事業用建築物		公務文教用建築物		サービス業建築物		他に分類されない建築物	
	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)	延面積(坪)	工事費予定額(千円)
昭和27年	6,074	156,048	2,232	49,374	19,520	414,897	—	—	401	7,931
" 28年	3,668	107,179	2,289	134,126	13,193	893,056	7,492	257,737	1,093	52,955
" 29年	1,891	96,233	615	19,059	10,152	351,220	4,066	171,185	720	14,055
" 30年	1,517	50,485	519	9,698	12,789	361,948	8,127	175,489	122	3,190
" 31年	1,763	51,462	1,286	48,118	14,557	388,749	5,394	172,096	200	4,090

注 用途別の分類方法が昭和28年に改正になったので、昭和27年については便宜上次のように掲上した。

旧分類の「公共建築物」は「公務文教用建築物」に、「その他」を「他に分類されない建築物」とした。

### 205. 公 営 住 宅 建 設 数

(単位 戸) 昭和31年度

年度及び施行主体別	総 数		木 造		耐 火 構 造	特 殊 耐 火 構 造		
			第 1 種	第 2 種				
昭和27年度	(767)	138	70	(617)	40	8	(150)	20
" 28年度	(709)	258	140	(539)	50	36	(170)	32
" 29年度		192	112		42	18		20
" 30年度		213	80		50	62		21
" 31年度		200	58		64	78		—
県 営		36	—		—	36		—
市 営		47	3		22	22		—
町 村 営		117	55		42	20		—

注 1. 木造中第1種とは10.5坪、第2種とは8.5坪のものを、特殊耐火構造とはブロック、鉄筋等を示す。

2. ( ) は鳥取市の災害によるもので外数である。

### 206. 滅失建築物

昭和31年

年次及び市 部郡部別	総 数			除 却			災 害		
	建築物延面積 (坪)	建築物の評価額 及び見積額 (千円)	住宅戸 数	建築物延面積 (坪)	建築物の評価額 (千円)	住宅戸 数	建築物延面積 (坪)	建築物の損害 見積額(千円)	住宅戸数
昭和 27 年	(108,288)	(3,164,312)	5,406	(2,274)	(6,738)	105	(106,014)	(3,157,574)	5,301
“ 28 年	142,660	4,124,218	100	3,568	9,687	28	139,092	4,114,531	72
“ 29 年	(1,966)	(25,899)	450	(591)	(6,838)	66	(1,375)	(19,061)	384
“ 30 年	17,960	145,640	153	15,281	111,023	88	2,679	34,617	65
“ 31 年	(9,772)	(98,581)	155	(1,742)	(5,528)	125	(8,030)	(93,053)	30
	17,934	139,310		7,988	17,388		9,946	121,922	
	(4,216)	(29,287)		(2,726)	(8,823)		(1,490)	(20,464)	
	7,594	58,928		4,172	17,615		3,422	41,313	
	(803)			(803)					
	4,040	61,397		1,862	10,454		2,178	50,943	
市 部	(35)		58	(35)		40	1,378	36,759	18
	2,183	42,408		805	5,649				
郡 部	(124)		97	(124)		85	800	14,184	12
	1,857	18,989		1,057	4,805				

注 1. ( ) は居住用建築物 (準住宅を含む) を示し内数である。 2. 災害中には半焼、半潰を含む。

### 207. 建設業法による登録業者

昭和31年12月31日現在

年 次	総 数	大 臣 登 録 業 者				知 事 登 録 業 者			
		計	県 内		県 外		計	総合業者	職別業者
			総合業者	職別業者	総合業者	職別業者			
昭和 27 年	...	...	17	...	...	221	...	...	
“ 28 年	...	...	20	—	...	261	234	27	
“ 29 年	441	75	24	—	35	16	366	41	
“ 30 年	389	73	22	1	38	12	316	39	
“ 31 年	399	83	25	—	44	14	316	44	

### 208. 防火建築帯造成事業

昭和31年度

年度及び種別	総 数						鉄筋コンクリート造		
	棟 数	戸 数	間口延長 (m)	床面積(m <sup>2</sup> )	補助対象面 積 (m <sup>2</sup> )	県補助金額 (円)	棟 数	戸 数	間口延長 (m)
昭和 27 年度	85	150	817.18	24,994.86	18,804.21	46,835,856	26	52	335.67
“ 28 年度	(1)	(1)	57.33	(306.10)	(158.90)	1,678,029	(1)	(1)	43.83
“ 29 年度	6	8	4.36	2,431.16	1,324.87	70,470	4	6	4.36
“ 30 年度	1	1	4.36	47.96	(46.00)	47.96	1	1	4.36
“ 31 年度	5	5	43.99	727.83	516.00	386,900	2	2	21.48
	3	3	22.03	803.60	376.00	563,600	3	3	22.03
2 階 建	1	1	8.80	164.25	83.00	124,200	1	1	8.80
3 階 建	2	2	13.23	639.35	293.00	439,400	2	2	13.23

年度及び種別	鉄筋コンクリート造			コンクリートブロック造成及び主要構造物の一部ブロック造を含む					
	床 面 積 (m <sup>2</sup> )	補助対象面 積 (m <sup>2</sup> )	県補助金額 (円)	棟 数	戸 数	間口延長 (m)	床 面 積 (m <sup>2</sup> )	補助対象面 積 (m <sup>2</sup> )	県補助金額 (円)
昭和 27 年度	13,276.07	7,751.90	19,281,562	39	98	481.51	11,718.79	11,052.31	27,554,294
“ 28 年度	(306.10)	(158.90)	1,548,941	2	2	13.50	377.18	225.98	129,088
“ 29 年度	2,053.98	1,098.89		—	—	—	—	—	—
“ 30 年度	47.96	(46.00)	70,470	—	—	—	—	—	—
“ 31 年度	197.63	100.00	74,900	3	3	22.51	530.20	416.00	312,000
	803.60	376.00	563,600	—	—	—	—	—	—
2 階 建	164.25	83.00	124,200	—	—	—	—	—	—
3 階 建	639.35	293.00	439,400	—	—	—	—	—	—

注 1. 昭和28年度の( )は増設分を示し外数である。  
2. 昭和29年度の補助対象面積の( )は国庫補助対象面積を示し内数である。

209. 公共土木事業

昭和29年度

工 事 別	工 事 名	事業予算額 (円)	精 算 額 (円)	総 延 長 (m)	箇 所 数
国庫補助工事	総 数	318,511,500	268,644,451	...	116
	道路改良事業	95,802,500	78,729,193	...	19
	橋梁架換事業	74,195,000	52,808,304	...	7
	道路橋梁補修事業	20,430,000	20,427,896	3,243	10
	舗装道改修事業	71,106,000	59,820,995	...	8
	重要幹線街路事業	30,612,000	30,601,214	3,090	8
	災害復旧事業	*26,206,000	*26,096,851	*1,980	*64
	道路調査事業	160,000	159,998	—	—

注 \*印には一部の県単独工事を含む。

昭和30年度

工 事 別	工 事 名	事業予算額 (円)	精 算 額 (円)	総 延 長 (m)	箇 所 数
国庫補助工事	総 数	563,114,000	447,259,763	32,351.3	89
	道路改良事業	63,600,000	47,196,148	5,907.8	20
	橋梁架換事業	65,520,000	33,668,592	270.4	5
	道路橋梁補修事業	22,380,000	17,458,129	3,332.0	8
	舗装道改修事業	60,840,000	56,211,622	4,933.2	12
	重要幹線街路事業	41,768,000	36,997,876	2,959.9	7
	緊急就労対策事業	13,000,000	12,892,489	1,558.0	3
	特別失業対策事業 (道路)	55,860,000	47,421,372	4,774.3	5
	“ (都市計画)	9,078,000	9,052,624	—	2
	区画整理事業	99,948,000	56,769,435	—	1
	河川改良事業	56,500,000	55,867,996	4,727.2	7
	河川局部改良事業	15,930,000	15,811,048	1,265.5	8
	特別失業対策河川 改良事業	11,500,000	11,371,199	2,401.0	4
	海岸堤防修築事業	18,740,000	18,375,874	222.0	2
	港湾修築事業	28,450,000	28,165,359	—	5

昭和31年度

工 事 別	工 事 名	事業予算額 (円)	精 算 額 (円)	総 延 長 (m)	箇 所 数
国庫補助工事	総 数	586,566,000	459,836,785	...	...
	道路改良事業	97,795,000	65,189,819	23,968	...
	橋梁架換事業	134,851,000	72,713,260	628	...
	道路橋梁補修事業	31,016,000	29,408,838	...	...
	舗装道改修事業	59,409,000	55,780,360	10,617	...
	臨時就労対策道路 事業	67,086,000	58,332,600	(上記事業に含む)	...
	特別失業対策道路 事業	33,538,000	33,130,953	( “ )	...
	街 路 事 業	34,154,000	19,628,464	3,590	9
	臨時就労街路事業	15,750,000	13,506,856	2,967	6
	河川改良事業	44,000,000	43,813,499	2,738	7
	河川局部改良事業	16,710,000	16,549,134	1,417	7
	特別失業対策河川 改良事業	16,200,000	16,063,287	1,637	4
	海岸堤防修築事業	7,300,000	7,199,046	148	1
	港湾修築事業	28,757,000	28,520,669	...	5

### 210. 災害土木復旧実施状況

昭和31年度

種 別	昭和26年度災害			昭和27年度災害			昭和28年度災害			
	30年度までに実施分 (千円)	31年度実施分		30年度までに実施分 (千円)	31年度実施分		30年度までに実施分 (千円)	31年度実施分		
		箇所	金額(千円)		箇所	金額(千円)		箇所	金額(千円)	
総 額	135,856	8	10,979	52,734	11	4,630	266,405	98	45,898	
県 工 事	計	109,193	7	9,789	35,623	8	3,806	219,914	61	33,992
	河海砂道	39,151	4	4,830	19,316	8	3,806	135,085	57	26,125
	川岸防路	5,842	—	—	—	—	—	—	—	—
	橋	5,736	1	409	2,920	—	—	2,381	1	474
	港 湾	11,082	—	—	8,096	—	—	59,808	—	—
市町村工事	21,469	1	3,180	5,291	—	—	8,160	2	5,939	
	25,913	1	1,370	—	—	—	14,480	1	1,454	
市町村工事	26,663	1	1,190	17,111	3	824	46,491	37	11,906	

種 別	昭和29年度災害			昭和30年度災害			昭和31年度災害		
	30年度までに実施分 (千円)	31年度実施分		30年度までに実施分 (千円)	31年度実施分		31年度実施分		
		箇所	金額(千円)		箇所	金額(千円)	箇所	金額(千円)	
総 額	63,688	15	12,900	9,184	13	4,658	13	6,218	
県 工 事	計	62,268	15	12,900	8,256	10	3,823	13	6,218
	河海砂道	20,049	8	4,793	248	4	880	—	—
	川岸防路	13,745	2	3,262	1,080	—	—	6	3,192
	橋	352	—	—	—	—	—	1	184
	港 湾	9,229	2	1,978	6,576	3	2,390	6	2,842
市町村工事	4,315	—	—	180	2	303	—	—	
	14,578	3	2,867	172	1	250	—	—	
市町村工事	1,420	—	—	928	3	835	—	—	

### 211. 砂 防 事 業

昭和31年度

年度及び事業別	総 数		堰 堤 工		堰 堤 工 及 び 床 固 工	
	箇所数	工 事 費 (円)	箇所数	工 事 費 (円)	箇所数	工 事 費 (円)
昭和 27 年度	51	118,570,087	38	89,334,299	1	10,257,641
“ 28 年度	58	132,473,793	38	90,717,647	1	2,938,550
“ 29 年度	65	118,421,207	33	82,290,323	—	—
“ 30 年度	48	111,234,916	28	72,699,790	1	2,835,096
“ 31 年度	65	91,513,568	39	63,298,345	5	10,082,721

年度及び事業別	床固工及び護岸工		海 岸 砂 防 工		そ の 他	
	箇所数	工 事 費 (円)	箇所数	工 事 費 (円)	箇所数	工 事 費 (円)
昭和 27 年度	5	11,252,200	2	680,985	4	5,615,027
“ 28 年度	5	10,913,089	—	—	14	27,904,507
“ 29 年度	—	—	—	—	32	36,130,884
“ 30 年度	8	16,636,532	1	500,000	10	18,563,498
“ 31 年度	5	5,278,494	1	508,316	15	12,345,692

- 注 1. 通常砂防事業である。  
 2. 機械器具費、営繕費、工事雑費、事務雑費は含まない。